

ふじみ野

市議会だより

No.37

H27.5.1発行

埼玉県ふじみ野市議会

CONTENTS

TSマーク
取扱店



市誕生10周年間近!

誰もが住みやすいまちに向け
きめ細かな予算編成 2p

直接
請求

西・亀居両保育所の存続
賛成少数で否決 7p

お答えします! 議員のごとく 2

9p

市政を問う! 一般質問

15人が政策論議

10p

点検整備済・TSマークには保険がついています

赤色TSマーク

- 賠償責任補償(補償限度額).....5000万円
- 死亡・重度後遺障害(1〜4級一律).....100万円
- 傷害補償(入院15日以上一律).....100万円
- 被害者見舞金(入院15日以上一律).....100万円
- 点検日から1年間有効です

働く人シリーズ⑩ 自転車屋さん

走る音を聞けば、どこが悪いかわかる自転車のお医者さんです。経験を重ねた技術と確かな資格が必要とされます。乗る人に合わせて調整すると、肩こりが治ることもあるそうです。

関連記事...18ページ

1月5日から業務がスタートした本庁舎増築棟。引き続き、平成28年3月まで本庁舎既存棟の改修及び駐車場の整備などが行われます。



市誕生10周年 間近!

誰もが住みやすいまちに向け きめ細かな予算編成

平成27年度 一般会計予算 380億6129万円 前年度比 15億617万円減

収入		支出	
市税 153億5398万円 所得・土地・家屋・たばこ等に対する税 前年度比 1億1249万円増	人件費 56億3321万円 職員の給与など 前年度比 7473万円増		
地方消費税交付金 14億8700万円 消費税の市への割り当て分 前年度比 5億1800万円増	扶助費 87億8797万円 生活援助に要する経費 前年度比 7億9037万円増		
地方交付税 33億円 国からもらうお金 前年度比 5000万円減	公債費 32億9725万円 借入れの返済 前年度比 3億5332万円増		
繰入金 21億9407万円 基金からの繰入れ 前年度比 10億596万円増	普通建設事業費 59億8845万円 建設に関する費用 前年度比 32億2240万円減		
建設に係る事業債 34億2830万円 建設に関する借入れ 前年度比 13億2920万円減	繰出金 27億9683万円 特別会計への繰出し 前年度比 7億6414万円減		

平成27年度一般会計 予算案の特徴

当初予算は前年度比3.8%減の約380億円となりましたが、広域ごみ処理施設整備事業等の予算前倒し分の約34億円を考慮すると、その実態として過去最大規模の予算編成です。施策別に見ると、市誕生10周年記念事業費をはじめ、民間保育園整備費補助や児童発育・発達支援センターの運営経費、単身高齢世帯対策や福祉総合支援事業など、子どもから高齢者に至るまで、きめ細かな予算編成となっています。

仙田 定 議員逝去



仙田定議員が、4月10日ご逝去されました。故仙田議員は、平成23年の初当選以来、市民・都市常任委員会副委員長を務めるなど、市政の発展にご尽力されました。ここに、心からご冥福をお祈りいたします。(故仙田議員の一般質問は11ページに掲載しています)

平成27年第一回定例会が開催され、当初予算をはじめ、39件の議案が提出されました。本会議では、1時間10分にわたった市長施政方針、それに対する各会派からの質疑、15人の議員による市政に対する一般質問のほか、各常

任委員会での審査を経て、各予算案・各条例案を可決しました。また、追加議案として提出されたふじみ野市立保育所の設置及び管理条例の一部改正の直接請求は、賛成少数で否決されました。(7ページ)



開会を告げる 大築 守議長

総括質疑を行った議員



福村 光泰議員 鈴木啓太郎議員 堀口 修一議員



塚越 洋一議員 小高 時男議員 西 和彦議員

●主な質疑 市税の確保

問 市税の増収要因は。
答 戸建て住宅やマンションの建設などの増加によって、個人市民税約5800万円の増収、均等割及び法人税割の納税義務者の増加によって法人市民税約600万円の増収、市税全体では約1億1200万円の増収を見込んでいる。

財政状況

問 今後の財政状況の見通しは。
答 連絡バスの利用実態として、1便あたり1・25人で年間1500万円の費用がかかる。今後は、必要がある場合にタクシードライバーを配付するなど、ケース・バイ・ケースで対応していく。

後年度負担軽減 繰上償還の効果はど

答 本市は人口11万人を超える都市として成長を続けており、合併による効率的な行政運営により、比較的健全な財政状況を維持している。しかし、公共施設の老朽化対策、人口減少や超高齢社会の到来に伴う追加事業の対応が求められてきている。今後は、繰上償還の実施や減債基金の活用などにより、後年度の公債費負担を減らしていきたい。

庁舎間の移動 支所・本庁の連絡バ

問 支所・本庁の連絡バスの今後は。
答 新市建設計画については現在作成中で、予算のヒアリングをしながら事業見込みをしている。合併特例債の発行上限額の272億円に達するかどうか、他の起債に切り替えられるか、起債に頼らないで基金で対応できるものがあるかなど、さまざまな検討を続けている。今後の議会で提案したい。

ごみの減量

問 生ごみ処理機の「ペランダーキエロー」はよい施策。周知は。
答 平成25年度からモニターの皆さんに実際にご利用いただいていたデータを集め、昨年度から導入となった。200基の設置を目標にしているが、現在165基。環境フェアや産業まつりなどで、さらに周知を図りたい。

延長保育料

問 公立でも民間でも通常の保育料は一緒だが、延長保育料は異なる。見直しは。
答 民間保育所における延長保育料の基準となる経費や算出方法が把握できていない。ただし、公立・民間を問わず、入れた園によって負担しなければならぬ経費が違ふというのには好ましくない。民間保育所と話し合いながら、延長保育料単価の見直しを行っていきたい。

高齢世帯支援

問 単身高齢世帯が増えている。しかし、緊急通報等支援事業の予算が減額となっている。要因は。
答 対象世帯に通報装置を設置し、いざという時に消防署へつないでいる。この機器は新規で5年間使用し、継続する場合は同じ機器を4年使用する。そのため、新規設置と継続設置とで単価が異なる。対象世帯への充足が図られ、継続設置が多くなり、予算減となっている。

遠隔手話通訳

問 遠隔手話通訳用タブレットが予算計上されている。その役割は。
答 手話通訳士の資格を持つ正規職員がいるが、ケースワーカーも兼ねてい

東口駅前整備

問 上福岡駅東口駅前整備の今後は。
答 平成27年度で建物調査と不動産鑑定が終わる。そして、その結果を踏まえて平成28年度に整備手法の検討に入り、少しずつ手がけていきたい。

施政方針に対する質疑

- 誠風会 福村 光泰議員
- 信政会 鈴木啓太郎議員
- 公明党 堀口 修一議員
- 日本共産党 塚越 洋一議員

議案に対する質疑

- 誠風会 小高 時男議員
- 信政会 西 和彦議員
- 公明党 堀口 修一議員
- 日本共産党 塚越 洋一議員

今号は、議員全員の顔写真を、1カ所ずつ掲載されています。

まちづくり

愛着のあるまちへ
さまざまな企画を展開

市誕生10周年記念事業

市誕生から10周年を記念し、愛着あるまちとして次世代につないでいくため、新規事業のみならず、既存の事業へもさまざまな企画が展開されます。

●主な質疑

問 10周年功労はどのようなものか。

答 現在、本市では表彰制度が定められていないため、10周年を契機に制度を設けていきたい。

問 対象者の想定は。

答 功労に対する表彰のほか、善行に対する表彰、特別表彰

を考えている。功労については、地方自治の貢献などさまざまな想定をしており、なるべく多くの方を表彰していきたい。

問 10周年記念コンサートとは。

答 「あつたかいふじみ野市」のイメージと合う著名なアーティストを招いたコンサートを開催したいと考えている。



市誕生10周年記念を祝う
ふじみ野市PR大使「ふじみん」

福祉

新たな地域福祉の
体制がスタート

福祉総合支援事業

市民相談室が市民総合相談室と名称が変わり、複合的な相談支援が必要なケースは福祉総合支援チームが担当します。複数の行政機関を結ぶ新たな地域福祉の体制がスタートします。

●主な質疑

問 引きこもりなどのケースで将来的な福祉的ニーズは相当数あるが、福祉総合支援チームは、相談者のところへ出向いて行うアウトリーチ、あ

るいは寄り添い型の支援はできるのか。

答 このチームは相談者の問題解決に向けて動き続ける支援を目的とする。面談をはじめ訪問活動、専門部局や他の関連機関とも連携し、事例研究によるスキルの向上を目指す。引きこもりなどの事例に対しては、家族問題や経済的困窮など複合的な背景を踏まえ、ともに理解して解決にあたりたい。



市内循環バス

交通

広域的な利便性も
考慮

市内循環バスの見直し

移動手段の確保や外出しやすい交通体系を構築するため、公共交通ネットワークの見直しが図られます。

●主な質疑

問 平成26年度実施の検討業務の結果は。

答 定時定路線を基本としたデマンド交通との組み合わせをはじめ、公共施設利用に重視した見直し、鉄道や路線バスとの接続による広域的な移動、利便性の向上などの改善方針を打ち出した。

問 運行の目的をどう考えているのか。

答 合併以前に旧大井町で運行していた2台のバスをそのまま市内全域に拡大したことから、目的の明確化も課題となっている。今回の見直しの中で、詳細を検討していきたい。

保育

良質で安心な保育
のため4園増へ

民間保育園整備費補助

人口増加が県内第3位になるなど、特に若い子育て世代が増加して、保育園を求め園に続き、平成28年度には新たに4つの認可保育園が開設されます。

●主な質疑

問 待機児童対策として保育所が増えるのはうれしく思うが、子育ての整備計画では平成28年度は1増とされていた。4つにした理由は何か。

答 市の子ども・子育て支援計画を策定した段階での予想を大きく上回る

子育て世代の本市への転入が見られ、保育所への入所申込者数が昨年度に比べ150人も増えている。加えて耐震強度不足の保育所から移っていたりする必要もあり、良質な安心な保育を提供するには、計画よりも増やす必要があると判断した。

福祉

専門的な支援や
相談に対応

児童発育・発達支援センター

お子さんの発育・発達に不安を感じたら...。専門的な相談に応じたり、療育支援も受けられる児童発育・発達支援センターがフクトピアにオープンします。市の機関や医師との連携体制も整いました。

●主な質疑

問 児童発育・発達支援センターは社会福祉法人に任せるといふことで運営補助金が支出されているが、行政とのかわりには。

答 本センターは障がい福祉課が主管し、保健センターなどでの健診時に、発育に心配がある場合、保健相談を受けた場合、保健師が本センターにつながる。あるいは子育て支援課で同様の相談があればそのケースワーカーが本センターにつながるという連携をとり、どのようなニーズがあるかを毎月確認する運営を行う。



児童発育・発達支援センター

環境

大井弁天の森の
賑わいをいつまでも

緑地管理事業
大井弁天の森用地取得

ラジオ体操やウォーキングなどの運動の場、子どもたちの遊び場、高齢者の憩いの場として親しまれている貴重な緑地を、将来にわたり存続させるため、用地取得を進めます。

●主な質疑

問 大井弁天の森の面積と、そのうちの市有地・民地の内訳は。

答 全体の面積は3万1300㎡となっていて、これまでに1万2801㎡を取得してきた。残る民地は1万4963㎡となっている。なお、その

他の面積は道路や水路などといった施設になる。

問 今後、どのように用地取得をしていくのか。

答 未取得となっている民地を特別緑地保全地区として都市計画決定を行い、計画的に用地取得を進めていきたいと考えている。



大井弁天の森の外観

※アウトリーチ...援助が必要な人々に対して、公共機関などが積極的に働きかけて支援の実現を目指すこと。

直接請求

西・亀居 両保育所の存続 賛成少数で否決

ふじみ野市立保育所の設置及び管理条例の一部改正



廃止となった西保育所

この条例案は地方自治法第74条に基づく直接請求(住民の50分の1以上の署名による条例の改廃請求)によって、提案されたものです。

ふじみ野市議会で直接請求による議案が審議された初めてのケースとなりました。

市長意見書

民間企業等により開発された耐震工法は数多くあるが、埼玉建築設計監理協会が策定したマニュアルに基づいた耐震工法を選択するのが最善と判断する。また、待機児童解消は重要な政策課題だが、この実現には安全・安心な保育環境の提供が不可欠である。来年度、新たに4園の認可保育所の建設を進め、定員の拡大に努めていく。

請求代表者の意見

大阪府の中核市、枚方市では軽量鉄骨の幼稚園・保育施設13カ所で、独自のマニュアルに基づく工法を用いて耐震工事を実施し、継続使用している。深刻化する待機児童対策として、同工法を採用すれば、コストをかけずに廃止する西・亀居の両保育所、さらに亀久保・鶴ヶ岡の保育所も継続して活用できる。

議案審議までの経過

平成27年
2月13日

請求代表者から選挙管理委員会に西・亀居保育所廃止に反対する署名簿(総数:2443人)が提出される。

3月5日

選挙管理委員会において審査の結果、署名の効力(総数:2338人)が確定する。

3月12日

市長はそれを受けて「ふじみ野市立保育所の設置及び管理条例の一部を改正する条例」案に意見を付して3月定例会に提出する。

3月17日

3月定例会において、同条例案が賛成少数で否決される。

● 審議の結果 賛成少数で否決

賛成 公立は保育の水準保持に必要。国に公立への補助を求めよ。

反対 国の法的に確立されたものではない。

反対 枚方市の工法は全般的に確立されたものではない。

反対 別の安全な施設への転園準備が進んでいる。

反対 安全第一。児童は別の安全な施設へ。

反対 子どもの命を守るのが最優先。耐震化を急ぐべき。

反対 子どもの命を守るのが最優先。耐震化を急ぐべき。

反対 子どもの命を守るのが最優先。耐震化を急ぐべき。

反対 子どもの命を守るのが最優先。耐震化を急ぐべき。

反対 子どもの命を守るのが最優先。耐震化を急ぐべき。

反対 子どもの命を守るのが最優先。耐震化を急ぐべき。

反対 子どもの命を守るのが最優先。耐震化を急ぐべき。

反対 子どもの命を守るのが最優先。耐震化を急ぐべき。

反対 子どもの命を守るのが最優先。耐震化を急ぐべき。

反対 子どもの命を守るのが最優先。耐震化を急ぐべき。

● 主な質疑
問 待機児童は200名を超えているのか。
答 待機児童の見込み数は現在18名となっており、昨年同時点の24名よりも少ない。
問 なお、認可保育所への入所を希望して入れなかった児童は205名で内訳は育休中・休職中などの家庭の児童137名、家庭保育室幼稚園で保育を受けられる児童46名などとなっている。
問 なぜ枚方市の工法を十分検討しなかったのか。
答 市では埼玉建築設計監理協会による軽量鉄骨造の耐震診断マニュアルに基づいて耐震補強を行う方針である。枚方市の工法についても検討したが、必要となる第三者機関の評価を得ることができないと判断した。

平成27年度 一般会計予算討論

賛成多数で可決

賛成 誠風会 小高時男議員
「あったかいふじみ野市」を目指した事業展開を評価

新たな認可保育所に向けた運営費、整備費補助や、児童発育・発達支援センターの開設などの子育て支援事業に加え、「元気・健康都市宣言」に係る健康づくり事業、市制10周年関連事業など、さまざまな事業展開の計画や、我が会派が指摘している運動公園の整備に関する予算措置も行われており、大きく評価するものである。



平成27年度ふじみ野市新規採用職員研修

賛成 信政会 島田典朗議員
各分野への適切な積極的予算編成を評価

人口増に伴う市税の増収だけでなく、徴収率も向上している。部局長マネジメント力の発揮などの新たな手法が取り入れられ、主体的な予算措置が組み込まれた。各事業のスクラップ・アンド・ビルドも進められ、今後も経営的視点に立ち、多様化する行政ニーズ、課題の解決にスピード感をもって対応することを要望する。

賛成 かがやき21 五十嵐正明議員
きめの細かい行政サービスに期待

開発による人口増で市税の増収が見込まれている。今後も安定した自主財源の確保に努めてほしい。市内循環バスは、民間とは別に、あえて行政がバスを運行する目的を明確にすべきだ。協働事業は、行政からの押しつけにならないように留意してほしい。福祉分野では、個人の事情に応じたきめの細かい行政サービスが期待できる。

賛成 公明党 堀口修一議員
一人と向き合う市政に期待

本年は市制10周年の佳節を迎え、次の20周年へ向けての大きな節目にしていかなければならない。各事業において、市民一人ひとりの声に耳を傾けていくという思いが重要。その意味で、福祉総合支援チームの設置を評価するものである。10周年を起点として「我がふるさと ふじみ野市」としてさらに実感できるよう、まちづくりに邁進されることを期待する。

賛成 無所属 小林憲人議員
後年度負担の軽減と子どもたちへの各施策を評価

減債基金を活用した繰上償還や交付金削減の回避は評価できる。今後も慎重敢為な行財政運営に努められたい。また、児童発育・発達支援センターや放課後児童クラブの建設など、次世代を担う子どもたちへの各施策も評価できる。全ての施策が11万市民の笑顔につながり、誰もにとって住みやすいまちになることを期待して、賛成とする。

反対 日本共産党 塚越洋一議員
基金の有効活用を

急激な民営化が進められ人件費は減少したが、委託料は増え続けている。合併特例措置の終了後、不足する財源に充当すると言って、受益者負担の名の下に市民の負担を増やして各種基金を「ためこむ」ことで数年間はもつが、基金は使ってしまうとそれで終わりだ。基金の有効活用で、市民の願いに積極的に応えるべきだ。

賛成 無所属 谷 新一議員
バランスのとれた予算を評価

歳入では市税増収による安定した自主財源の確保と収納率アップが評価できる。歳出では、新設保育園の運営費など子育て支援策の拡充や地方創生のベースと期待する企業誘致・交通体系調査等、地域包括ケアに不可欠な総合福祉相談事業等が予算措置された。タイムリーかつ将来投資と担保のバランスのとれた予算として評価する。

お答えします! 議員のこと

シリーズ②

シリーズ①は36号(前号)に掲載しています。

私たち議員が市民の皆さんからよく聞かれる質問にお答えします。

Q 研修会ってなあに?

議員力向上や見識を深めるために、研修会・講演会に参加しています。全国都市問題会議や全国市議会議長会主催の研修会には全国の議員が参加し、意見交換をしています。

民間機関主催の研修会では、まちづくり・社会福祉・社会保障・インフラ整備等、専門家から地域に生かせる政策に関する知識を学んでいます。費用は政務活動費や公費が使われます。

そのほかに、先進地の視察を行っており、実際にその地に行って取り組みなどを見て、ふじみ野市にどう生かせるかなどを検討しています。



全国都市問題会議



ふじみ野市議会議員研修会



Q 教えて、議員報酬等

問 退職金は。

答 ありません。

問 議員年金は。

答 現在はありません。平成23年に廃止されました。原則国民年金に加入しています。

問 新人と期数の多い議員との報酬の違いは。

答 ありません。

問 報酬はいくらですか。

答 報酬(歳費)はこの4月から引き上げられ、月額38万2000円になりました。合併直後の財政難もあって10年間据え置かれており、県内で下から2番目の報酬額でしたが、今回、中くらいになりました。

問 議員報酬の決め方は。

答 特別職報酬等審議会の答申を受け、決定されます。

問 政務活動費は第2の給料と言われ問題になっていますが、いくらですか。

答 1ヵ月1万円です。

問 政務活動費は何に使われますか。

答 視察に行ったり、民間機関の研修会に行ったりしています。使い道は条例で限定されており、残金がある場合は、市へ返還することとなっています。なお、不足分は私費でまかさないです。

問 政務活動費の使い道の公開は。

答 すべての領収証を添付してホームページで公開しています。

提出議案と審議結果

◎全員賛成 ○賛成多数 ・否決

… 平成27年度予算 ……

- 一般会計
- 国民健康保険特別会計
- 介護保険特別会計
- 後期高齢者医療事業特別会計
- 下水道事業特別会計
- 水道事業会計

… 平成26年度補正予算 ……

- 一般会計(第8号)
- ◎一般会計(第9号)
- 国民健康保険特別会計(第3号)
- 介護保険特別会計(第4号)
- 後期高齢者医療事業特別会計(第2号)
- ◎下水道事業特別会計(第3号)
- ◎水道事業会計(第1号)

… 条例の制定 ……

- 教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例
- 子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額を定める条例
- ◎地域包括支援センターの職員等に係る基準を定める条例
- ◎指定介護予防支援等の事業の人員及び運営等の基準等を定める条例
- 介護予防・日常生活支援総合事業の実施の猶予に関する条例
- 上下水道審議会条例
- 教育振興計画策定委員会条例
- まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会条例

… 条例の一部改正 ……

- 行政組織条例
- ◎手数料条例
- ◎行政手続条例
- 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例
- 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例
- ◎男女共同参画推進条例策定検討委員会条例
- 市立保育所の設置及び管理条例
- 介護保険条例
- ◎特定目的借上公共賃貸住宅条例及びふじみ野市営住宅条例
- ◎中高層建築物の建築に係る紛争の防止及び調整に関する条例
- 市民憩の森条例
- ◎職員の給与に関する条例
- ◎放課後子ども教室運営委員会条例
- ・市立保育所の設置及び管理条例
- ◎市議会委員会条例

… その他 ……

- ◎(仮称)ふじみ野市・三芳町環境センター整備・運営事業建設工事請負変更契約の締結
- ◎道路線の認定
- 市立上福岡図書館の指定管理者の指定

… 人事 ……

- 教育長の任命

… 意見書 ……

- ・景気回復のためにも消費税を10%に増税することの中止を求める意見書
- ・社会保障制度の改悪に反対する意見書
- ・国会決議を守れない環太平洋パートナーシップ(TPP)交渉から撤退することを求める意見書
- ・ブラック企業の規制等を求める意見書
- ・原発の再稼働を行わず廃炉とし、再生可能エネルギー普及促進を求める意見書
- ・集团的自衛権行使容認の閣議決定を撤回し、立法化を行わないよう求める意見書
- ・沖縄県民の民意を尊重し、辺野古新基地建設断念を求める意見書

議案審議

本会議・各常任委員会での質疑をまとめてお知らせします。

平成26年度
補正予算(9号)
全員賛成で可決

地域・子育て世帯に経済支援

国の交付金と県の補助金を活用し、商品券の発行・多子世帯への商品券配布など、市内経済を活性化させる事業が行われます。

●主な質疑
問 商品券の発行総額及び発行時期は。
答 3億2000万円の販売を予定している。これに国・県からのプレミアム分30%を加算した4億1600万円が発行総額となる。発行時期は9月末から10月初旬を軸に商工会と調整中。

問 商品券による地域経済への効果はどう測定するのか。
答 どういった店舗でいくら使用されたかなどの統計情報をまとめるほか、消費者へのアンケートを予定している。

問 多子世帯への配付事業を行うこととした経緯は。
答 今回の国の施策には消費喚起とあわせて子育て支援といたったメニューも盛り込まれているため、市独自の事業として国の交付金を活用することとした。一定要件を満たす家庭に対し、商品券を配付し経済支援を行う。

条例改正 賛成多数で可決

ふじみ野市行政組織条例の一部改正 「学び」がより生かされるため

生きがい学習に関する事務を、教育部から市民生活部へ移行するものです。

●主な質疑
問 移行の経緯は。
答 スポーツ分野を教育部から市長部局へ移行した際、生涯学習分野についても検討してきた。個々の学びをまちづくりに生かし、個人の生きがいへとつなげる仕組みづくりを行うっていくという政策を展開するため移行したい。

問 組織編成においては、人員配置と予算措置も重要と考えるが。
答 人員に関しては、係を増設し、配置していく。予算については、今後、検討していきたい。

問 教育委員会会議ではどのような意見があったのか。
答 生涯学習の推進に関しては、市長部局と教育部とが連携し、進めていくようにとの意見があった。



市政を問う！ 一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、15人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。(5月下旬掲載予定)

地方創生事業の内容は

山田敏夫 議員



問 ふじみ野市における地方創生事業の具体的な内容は。
答 子育て支援策による少子化対策や健康増進

商店会の活性化

問 地産地消を推進するため、商店会の活性化を図るために、商店会と連携して「軽トラ市」のようなイベントを開催してはどうか。
答 農業者と商店会などが連携して地域振興を図

文化財の保存

問 福岡三丁目御嶽神社は、周辺から6世紀ごろの人物埴輪が出土されたことなどから前方後円

墳の可能性が高いと聞いている。文化財として保存できないか。
答 事業者から開発申請がなされた場合、文化財保護の観点から保存について事業者と協議する。開発の中止が不可能でも盛土による古墳の保護、また、古墳等がある場所



人物埴輪

子どもの貧困対策

新井光男 議員



問 学習支援など市民団体の育成を。
答 学習支援は、生活保護世帯の中学生・高校生を対象に県が実施しているが、平成27年度は生活困窮世帯まで対象を広げ市の委託事業として実施する。
問 自立支援計画の策定への対応は。
答 経済的に困っている方の課題を分析し、そのニーズを把握するため、福祉部内に福祉総合支援チームを新設し、相談援助の経験を持つ職員

戦後70年にふさわしい平和事業の実施

問 市民参加による通年的な取り組み、学校や生涯学習における平和事業の充実を。
答 平成27年度は、公募による市民で構成される「(仮称)ふじみ野市平和記念誌編纂委員会



学習講座「造兵廠の学徒動員」

を設置し、市民の戦争体験や平和を願う思いを綴った絵画・作文を記念誌として編纂して、後世に語り継ぐ平和事業としたい。

市街化調整区域の将来を考える

島田典朗 議員



問 公共下水道の整備方針は。
答 県では、平成37年度までに生活排水処理人口100%達成を目標としている。本市では、平成30年頃に公共下水道汚水整備計画を策定し、地区別説明会の中で負担額や使用料を示していきたい。

問 大井坂上の川越街道は、市道と変形の交差点になっており、混雑の原因ともなっている。整備方針は。
答 川越街道の歩道拡幅事業に合わせ、スムーズな交差点形状としていく。
問 国道254号バイパス周辺は、産業系土地利用

市民の健康づくり推進のために

仙田 定 議員

問 「元氣・健康都市宣言」に込められた思いを効果的に推進していくための事業展開を。
答 市民の健康づくりに対する気運を盛り上げるために、6月に「ふじみ野市元氣・健康フェア」を開催する。また、健康マイレージ制度の導入

いじめ防止対策

なども、今後検討する。
問 いじめ防止条例制定に向けた考え方は。
答 子どもたちや市民の声を条例に盛り込み、生きた条例づくりのために幅広く意見聴取を行い、それを反映させるよう検

放置自転車対策

問 上福岡駅前の放置自転車解消に向けた取り組みは。
答 放置自転車が多い歩道上には、以前より大きな放置禁止シールを設置し、歩道上の点字ブロックの再塗装を行う。また、商業施設の管理組合との協議では、これからも市と情報を共有しながら、放置自転車対策に取り組



放置禁止シール

んでいる。
問 上福岡駅前の放置自転車解消に向けた取り組みは。
答 放置自転車が多い歩道上には、以前より大きな放置禁止シールを設置し、歩道上の点字ブロックの再塗装を行う。また、商業施設の管理組合との協議では、これからも市と情報を共有しながら、放置自転車対策に取り組

教育に新聞の活用を

問 学校図書館や教室への新聞配備を進め、活用していく考えは。
答 新聞の重要性は大きいものと考えているが、



大井坂上交差点付近

新聞には様々な論調があり、児童・生徒に与える影響も考える必要がある。教育には常に慎重さが求められており、更なる活用と同時に十分な慎重さをもつて進めていきたい。

一般質問



市内にあるお菓子の直売所

問 災害時には地域の情報が必要。昨年の大雪、台風で市から何か情報を発信したか。
答 情報発信はしていない。大雪の後、職員行動マニュアルを見直した。
問 災害時は市民も不安。被害がなくても情報発信すべきではないか。

災害時の情報提供体制は

民部佳代 議員



問 今後、公共施設を休館する場合などはホームページやふじみ野FMメールなどで情報提供しなければならないと考えている。
問 空き店舗を「ミニミニ」施設に活用
問 空き店舗を高齢者や

在宅介護の駐車場の確保を

問 訪問看護師やヘルパーが駐車する場所がない。住宅密集地の空き家をコインパーキングにできるよう情報提供できないか。

直売所を観光資源に

問 市内や近隣市町にはお菓子工場などの直売所が多い。近隣と連携し、直売所めぐりガイドでまちのPRを行っては。
答 近隣一体に集客力を持たせ、販売促進や観光資源にもなり得ると考える。近隣市町と連携しながら、周知の方法を研究したい。



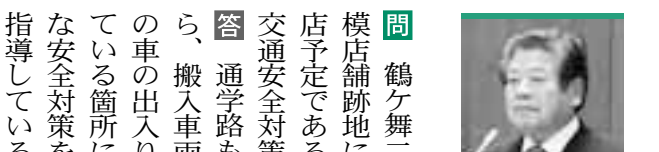
デマンド交通との併用で見直しを

伊藤美枝子 議員

交通空白地域の交通弱者対策は喫緊の課題。循環バスの拡充とデマンド方式との併用が望ましい。三芳町では昨年9月から試行運転を経て実施している。昨年の調査で見た実態は。
答 高齢者を中心とする利用者の買い物・通院な

せた運行方式、小型車両の検討など市の実情に即した事業を目指す。
避難生活用品の分散備蓄で防災教育を
問 避難所となる学校の余裕教室を活用し、資機材や避難生活用品の分散備蓄を行っている自治体がある。東日本大震災で奇跡的な避難をした釜石市の小中学生は、日頃からの防災教育が活きた結果となった。防

災資機材を活用し防災教育を行う。
答 学校の余裕教室を活用し、分散備蓄を行う。児童・生徒が災害用備品を目にし、使い方を知ることは重要。資機材を配備し、有効な活用で意識を高めるよう指導する。
防災倉庫の内部



新店舗出店に伴う積極的な交通安全対策を
有山 茂 議員
問 鶴ヶ舞二丁目の大規模店舗跡地に新店舗が出店予定であるが、付近の交通安全対策は。
答 通学路もあることから、搬入車両や買い物客の車の出入りが計画されている箇所に対し、十分な安全対策を行うよう指導している。また、今後も交通状況を見ながら、安全のための対応を行う。
農業政策
問 今後の市の農業政策は。
答 「生分解性マルチフィルム」購入への補助を実施し、環境負荷の軽減と農作業の簡略化につなげる。また、高齢化や担い手不足解決のため「入農地プラン」を広げ、さらに「農地台帳システム」の導入により農地の集約化・遊休農地の発生防止に結びつけていく。

民間の福祉力をもっと活用しては

鈴木啓太郎 議員

介護ボランティアをはじめ、市内には多彩な民間の福祉力が生まれているが、これらを総合的にネットワークすべきでは。
答 高齢者人口は団塊世代が75歳以上になる2025年にピークを迎える。ボランティアな

彩の国安心セーフティネット事業が、福祉法人の社会貢献活動として始まっているが、市として連携すべきでは。
答 同事業は生活困窮者からの総合的な相談を受け、必要に応じて経済的支援を行うもので、同事業も含め、さまざまな支援機関との連携、新た

な社会資源の創出を図りたい。
広く市民に周知する
問 具体的にはどのような活用が考えられるのか。
答 失業後や虐待DV被害などによる避難直後の緊急的な相談の場合など、民間による機動的な事業が有効な場合がある。今後市民への周知を行い、庁内組織間で連携を図る。

雨水対策
問 関越自動車道西側県道周辺の雨水対策は。
答 雨水調整池を整備するため、この地区の浸水被害が大きく軽減されると考えられる。また、県では、雨水対策がされていない住宅に浸透枘を設置する予定であり、今後とも県と連携して浸水被害の軽減に努めていく。



地域農業の未来を描く



LGBT（性的少数者）への理解を

田村法子 議員

市内の現状は。
答 性的少数者に対して実態把握はしていないが、調査では国内人口の約5%と推定され、そのうち8割がトランスジェンダーと推定される。
問 市はどんな配慮をしているか。
答 一定要件に該当する

場合、戸籍上の性別記載を変更している。
貧困の連鎖を断ち切るために
問 子どもの情報を一番得やすいのは教員である。その情報を福祉につなげて、子どもを守れないか。
さらなる市民力で地域力を
問 保育所廃止問題では、その経緯が市民に十分伝わらず、限りなくうそに近いと思われる情報が飛び交った。市民力・

判断力があれば、「子育てするならふじみ野市」という印象を下げることにはなかつた。情報ギャップをどうしていくのか。
答 市報やホームページはもちろん、行政の担い手として、丁寧に説明をしていくことでギャップが生じないようにしていく。スマートフォン・タブレットから、市報の閲覧可能な仕組みの導入を進めている。



新しい保育園が4月1日オープン

※トランスジェンダー…性同一性障害のひとつ。身体の性と心の性が一致しないが、外科的手術などは望まない人。



手話による窓口での会話

小中学校での手話体験学習の実施を。
問 現在、総合的な学習の時間で手話を学んだり、手話でのあいさつや歌を歌ったりするなど、体験活動にも取り組んでいる。今後も障がいのある方とともに学ぶ機会を増やしていく。



聴覚障がいの方の環境整備

岸川彌生 議員

手話通訳者の増員を。
問 現在、正規職員の手話通訳士が1人いるが、資格を持っていない者の一般事務職採用について検討する。
問 要約筆記養成講習会の実施を。
答 平成20年度から3年

近隣市町と合同で講習会を開催したが、現在開催していない状況である。今後、県で実施している講習会を案内するようにしていく。
さらなる機能発揮を
問 シルバー人材センターを派遣事業所として高齢者の就労拡大を。
答 すぐに派遣事業に切り替えるのは困難であるが、介護予防事業、生活

支援事業などをはじめ、新規事業等にシルバー人材センターの派遣の活用を検討していく。
お知らせ
ふじみ野市議会だよりがスマートフォン、タブレットで読めるようになりました。App StoreやGoogle playから、「広報紙」というアプリをインストールしてご利用いただけます。
【注意】紙面の閲覧中に広告が表示されることがあります。アプリ、広報紙のダウンロードにはデータ通信料が発生します。



広域ごみ処理施設の 周辺整備は

谷 新一議員

問 広域ごみ処理施設整備に関する協定書にうたわれる「福岡江川協の道路用地に湧水を利用できる施設」とは、どのようなものを考えているか。

答 現時点では具体化していないが、早い時期に

活用を進めるため研究を行うっていく必要がある。

駒西小学校周辺の安全対策を

問 駒西小学校周辺の交通安全対策として市道第262号線の歩道拡幅の予定は。

答 来年度実施するふじみ野市総合都市交通体系調査の結果を踏まえ、整備手法等を検討する。

旧児童館脇の交差点に信号機設置を

問 県道東大久保ふじみ野線と市道第282号線(旧第3児童館脇の道路)の丁字交差点に信号機を設置する予定は。

答 東入間警察署に「押しボタン式信号機」の設置要望を既に行っているが、引き続き要望している。



今後の保育所整備計画は

伊藤初美議員

問 保育所入所希望者が1年間で150人増えている。今後3年間の保育所整備計画は。

答 平成27年度に4園整備を予定しているが、その後の整備計画はない。しかし、保育所はまだ不足しているので、申し込み状況や転入児童数を注視し、検討していく。

問 公立保育所のあり方についての考えは。

答 公立も民間も同じ認可保育所として、児童福祉法第24条が求める保育を行うものと考えている。

校庭の砂ぼこり対策は

問 校庭の土の入れ替えやスプリンクラーの設置をしては。

答 多額の経費が必要となる。砂ぼこり対策としては、各学校で散水や塩化カリウムの散布をしている。

三ヶ島街道の歩道整備

問 三角小学校の通学路として、歩道が狭く危険である。できることから歩道の拡幅ができないか。

答 学校と協議しながら、県にガードレールの設置や道路拡幅を引き続き要望していく。

より適正な債権管理を

小林憲人議員

問 すべての会計の未収金額は約35億円。このうち市税を除いた税外債権は約23億円になる。債権回収の新たなセクションや徴収の二元化、債権管理条例の制定が必要では。

答 県内先進地の状況や横断的組織も視野に入れ検討する。その中で債権管理条例も検討する。

させた。また、教員の研修会も検討する。

つながり強化を

問 高齢者が紙芝居や竹とんぼづくりを子どもに教えることで、多世代間や地域とのつながりを図っては。

答 多世代間交流は重要と考える。学校の余裕教室などを活用した開催を研究したい。



国道254号バイパス沿いの企業誘致候補地

有効な誘致戦略を

問 埼玉県では、先端産業創造プロジェクトと絡めた助成金がある。当該プロジェクトや助成金と絡めた企業誘致の展開を。

答 プロジェクトに合致したような企業誘致を積極的に進め、制度を最大限活用していきたい。

住み続けられる家賃補助を

問 家賃が高いために、霞ヶ丘・上野台団地から転居する高齢者が増加している。家賃補助をできないか。

答 貸し主である都市再



交通権を保障するための 財源拡充は

足立志津子議員

問 運行改善の実施時期と、交通権を保障するための財源拡充は。

答 平成28年1月に実証運行の予定で、経費の効率化と事業の効果を考えて実施する。

**指定管理者による
市立図書館の管理**

問 レファレンス業務

計画策定時期は。また、当面の修繕はどうか。

答 いずれ進めたいと考えている。樹木剪定は実施して、必要な場所の修繕も行っていく。

県道東大久保ふじみ野線の交通安全

問 県道東大久保ふじみ野線の交通安全対策は。

答 駒林ヤオコー前の交差点は、工作物撤去に入った。丸山踏切拡幅と丸山踏切からかすが保

資料収集や歴史の継承など、「指定管理」で議会ごとに指摘してきた。今回の協定で改善がされているか。

答 従業員の雇用は会社内の問題なので、関知するものではない。

江川緑道整備

問 「江川緑道維持管理

WiFiスポット 設置に関する対応

問 図書館などの公共施設や災害時の避難場所などへのWiFiスポット設置は。

答 設置に向けて、主な公共施設での利用率などを調査し、通信会社と協議する。



歩道の狭い三ヶ島街道

交通安全対策を

問 三芳スマートインターの大型車出入りは中止を要すべきでは。

答 三芳町と連携をとりながら、検討していく。

問 「ゾーン30」実施の徹底を。

答 宅配業者には市が直接啓発していく。路面標示は市が警察と協議していく。

空き家対策

問 空き家対策特別措置法が施行されるので、市としても新たな展開を。

答 実態調査方法は国の動向を注視しながら、関係部署と協議・研究していく。

低所得者の 介護保険料負担軽減を

塚越洋一議員

問 第6期介護保険計画で、介護保険料は低所得者の負担軽減を図るなど応能負担にすべき。5億円もの基金を抱えながら、保険料をなぜ上げるのか。

答 国の標準は9段階だが、当市は15段階にして低所得者の負担軽減を

図った。

国保税の引き下げを

問 国保会計の基金が3億4千万円もあり被保険者一人あたりの基金残高が1万2千円あるのに、なぜ高すぎる国保税を引き下げられないのか。

答 将来にわたって持続可能な制度にしていくなため、引き下げは難しい。基金は支払い資金の不足に充てるものである。

問 国保会計の基金が3億4千万円もあり被保険者一人あたりの基金残高が1万2千円あるのに、なぜ高すぎる国保税を引き下げられないのか。



改修が待たれる江川緑道



児童発育・発達支援センター

フクトピアにオープンする同センターには、お子さんの発育・発達に悩むたくさんの相談が寄せられます。

発達はお子さん一人ひとりで違うものです。家族の方に必要な情報を提供できるように、地域との連携を密にして取り組んでいきます。(岩長さん 左)

このセンターはこれまでふじみ野市になかった新しい社会資源です。お子さんのことを一人で抱え込まずに、いつでも相談に来てください。(吉川さん 右)

センター職員のお2人に (フクトピアにて)

ふじみ野市誕生 10周年記念事業

10月に行われる記念式典のほか、年間を通してふじみ野市の10周年を祝うさまざまなイベントが開催されます。

今年成人となった私たちが率先し、盛り上げていくことを目指しています。県内外から「ふじみ野市でしょ？ 知ってるよ!」と言われるような、自慢できる場所としたいです。(伊藤さん 中央)

ふじみ野市の魅力を発信する企画を準備しています。市民のみんなが魅力を語れる未来を夢見て、頑張っています。(照井さん 右)

にふんのいち 1/2 成人式企画委員会のお2人に



認可保育園の建設補助

待機児童の解消と保育サービスの充実を図るために民間保育園4園の建設に補助を行います。

経験豊かな保育士による保育を実践したいですね。補助単価も増額されましたが、経営を考えると、まだまだ現状は厳しいですね。ボーナスも給与もできるだけ引き上げていきたいです。

園長の小林さんに (亀久保ひまわり保育園にて)



プレミアム付き商品券発行事業

商工会を通じて、プレミアム付き商品券を、総額4億1600万円分発行します。



問 プレミアム付き商品券が発行される予定ですが、購入しますか。

答 3割もプレミアムが付くのはすごくお得ですね。買いたと思います。楽しくお買い物ができるし、何か大きな買い物する場合は、特にうれしいですね。

問 多子世帯で一定の要件を満たすと、商品券の給付もあるんですよ。

答 お子さんが多い家庭では、こまごまとしたもので、何かと出費もあるので助かりますよね。

お買い物に出かける方に (上福岡駅西口駅前広場にて)

こういった土地は計画的に市で管理していった方がよいと思います。是非、次世代により形で残してほしいです。また、桜のシーズンになると混雑するので、駐輪場・駐車場の整備をしていただけるとありがたいです。

散歩中の山崎さんに (大井弁天の森にて)



大井弁天の森用地取得

弁天の森を特別緑地保全地区に指定して、計画的に土地を購入し管理していくことになりました。

編集委員が直撃インタビュー

平成27年度事業 あなたの意見を聞かせてください

福祉総合支援事業

4月からスタートした福祉総合支援チームで新しい地域福祉が始まります。



市民相談・人権推進室長として勤務した経験から、多くの問題を抱える相談では、生活全体を総合的に支援するのを感じてきました。この支援チームは、生活困窮など、さまざまな困難や不安を抱えている人の生活再建や就労支援など総合的な支援のコーディネーター役として問題解決をサポートしていきたいと考えています。

福祉総合支援チームリーダーに就任した熊木さんに (左奥)

私は80歳になる一人暮らしです。市内循環バスはほとんど毎日、雨の日も雪の日も利用しています。私の楽しみはバスに乗って、食事や買い物です。家に閉じこもらないように人と会い、おしゃべりもしたいです。これからもバスは私の足となってほしいです。

鶴ヶ岡在住の樋口さんに (バス停付近にて)



市内循環バスの見直し

今後の運行体系などについて、昨年度に実施したアンケート結果などを踏まえ、見直しを行います。



表紙：働く人シリーズに寄せて



自転車屋さんに伺いました

Q 自転車屋さんにはどうしたらなれますか。

A 修理や点検をするには、自転車技士の資格が必要です。試験では制限時間内に自転車を組み立てなければなりません。技士が整備した自転車にはTSマーク（保険付き）が貼られます。

Q やりがいを感じる時は。

A 修理した後に「調子いいよ」と声をかけてもらったときです。

Q 自転車を長持ちさせる秘訣は。

A 最初はちょっと高いと思ってても国産の良いものを選んでほしいです。点検も年に1度は必要です。10年も20年も乗れますよ。

Q 昔からの自転車店が少なくなりましたが。

A 修行に年数がかかり、経営も大変で後継者がいません。県内でも毎年十数店が廃業しています。同業者同士、技術面で助け合いながら商売を続けています。



ご協力：鶴ヶ岡の杉淵重範さん

議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。
市議会の議事録も見られます。

<http://www.city.fujimino.saitama.jp/assembly/>



3月定例会の傍聴者は58人でした。

傍聴をお待ちしています

次の臨時会の開会予定：5月19日午前9:30～

次の定例会の開会予定：6月2日午前9:30～

請願締め切り予定：5月22日午前10:00

上福岡公民館で開催します

議会広報常任委員会

委員長	田村 法子	副委員長	小林 憲人
委員	島田 典朗	委員	鈴木啓太郎
委員	仙田 定	委員	伊藤 初美
委員	五十嵐正明		

表紙の題字を書いてくれた人 花の木中1年 仁村水咲さん

ふじみ野



小1から習字を習ってきました。今回初めて行書にチャレンジしてみました。もっといろいろな字を書いてみたいです。

編集後記

選挙も終わり、新たなメンバーでふじみ野市議会がスタートしていることでしょう。議会広報紙は改選時期だけは未発行でした。平成23年、前回の改選時は東日本大震災という未曾有な状況に、未発行は仕方のないことと思いました。

さて、今回発行するにあたり選挙運動で忙しい委員さんも文句1つ言わず、莫大な資料を基に記事を仕上げてくださいましたことに感謝いたします。「お気づきでしょうか？」議会広報という平等の精神のもと、議員の写真を必ず1カ所入れようと進めました。

今議会は直接請求もあり、議会は毎回何が起こるかかわからないという経験ができたことも私の人生における宝物です。

(五十嵐正明)

